

◎大道場長に聞く

インタビュー

# み教えを多くの方に

## 一年に一度は心の洗濯を



阿比留晴源  
大道場長

——本年の節分大祭以降、大道場修行の講座内容が大きく変わります。まず、なぜ変更されることになったのか、経緯をお聞かせください。

数年前から、教主さまが大祭ごあいさつの中で「天地の律法」、「大和魂」やまとたましいについて繰り返しお示しになっています。大道場としてもこれを受けて、講座内容の充実を図る必要があると感じました。

さらに『いづのめしんゆ』が刊行され、これまで講座の中では間接的にしか触れる

ことができなかつた事柄が、お示しによって直接的にお話しできるようになりました。

また昨年の瑞生大祭時に待望の四大綱領碑が建立され、大本の三大学則、四大綱領、四大主義の石碑がそろいました。これによりみ教えを学び、実践する機運が信徒間に高まってきました。さらに本年は天恩郷、本宮山が入手されてより百周年を迎え、来年は天恩郷に大道場が開設されて百周年を迎えます。

これらのことが重なり、長年課題となっていた講座および講座内容について、変更

と改善に向けての具体的な検討を行いました。

——それでは具体的にどのようになら変わるのかご紹介ください。

まず講座時間についてですが、二時間半の講座を、一部を除き二時間に短縮しました。

かつては一つの講座が三時間で構成されていた時期もありましたが、修行者からの要望もあり、近年二時間半に短縮し、今回、



二時間としました。

今までは朝夕拝後の時間が短く、修行者の方々には慌ただしい日程でしたが、講座開始時間を変更したことにより、一日のスケジュールが比較的ゆつたりと送れるようになりました。

また天恩郷の神苑案内は時間を延長しましたので、落ち着いて巡拝し、神霊の気に触れ、大安石、小安石でもおかげを頂き、歌碑や教碑前でゆつくり説明を聞くことで、み教えや歴史をより深く実感していただ

ると思います。

高熊山参拝も時間を延長することで、岩窟前のみならず、瑞泉苑、聖師さまの産土・小幡神社や郷神社などにも余裕を持つて参拝できますし、玉の井や久兵衛池の前で聖師さまのエピソードをじっくり聞き、より充実した時間を過ごすことができるのではないでしょうか。

——四泊五日の日程は従来通りですね。

二泊三日や三泊四日に変更しては、という意見も出ました。

しかしながら、大本のみ教えが多様であること、そして多くの修行者を見ておりますと、三日目ぐらいから内面の変化が見られるのです。一定期間、聖地で寝食と礼拝を行うことよって初めて得られる変化や感動が、三日目を過ぎたころから現れ、四日目に綾部・梅松苑に移動するころには、別人かと思われるほどの変化を示す人が少なからずおられます。

その様子は、あたかも霊界へ帰った魂が中有界で五十日間に、外分から内分の状態を経て準備の状態となる一連の変化の様子

をほうふつとさせるものです。

やはり亀岡・天恩郷で四日間過ごし、その後、綾の聖地に向かうという日程は大事だと思います。

前日に任意で受けていただいていた「修行の心得」は初日の開講式時に移しました。前日からだと計六日間になりますし、前日から修行に入られる方と、当日、開講式から入られる方では、初めのうちはやはり違いがあります。

前日から宿泊され修行を受けられる一般の方のために、初日の朝拝時には係員が付いて万祥殿までのご案内、清掃やお礼拝の仕方などを指導させていただきます。

——それでは新しい講座内容についてお尋ねします。まず「要のご用」が新設されました。

三代教主さまから「二代教主さまの要のご用についての内容を入れるように」とのご指示で始めましたが、これまでは「歴代教主の神業」として講座を行っていました。

国常立大神さま、豊雲野大神さま、金勝要大神さまを三体の神といいます。大本

には二代教祖がおられますが、扇の要のように束ねるご用をされるのが金勝要大神さま、つまり二代教祖さまです。最近に触れる機会が少なかつたので、今回、短時間ではありますが新設しました。

それに伴って従来「歴代教主の神業」で紹介していた内容、三代教主さま、尊師さまについては「信仰と生活」の講座で、また、四代教主さま、現・教主さまについては「大本の使命」の講座で触れさせていただくことになりました。

——今回の改革で大きなことは従来「神と人」であった講座が「大本の神」と「人生の目的」に分けられたことだと思います。

私はかねてから、「人は何のために生まれてきたのか」という人生の本義といえますか、人生の根本義をもっと詳しく説くことが大事だと思っていました。そのため一つの講座で扱っていた内容を、このたび「神」と「人」に分けました。

まず「大本の神」では大本の神観、宇宙観、神業の進展などをお話しします。しかし私たちは神さまについて、三大学則について、

霊、力、体についてを教えに基づいて伝えることはできませんが、その神さまにどのようにしたら通じるか、という「至誠通神」をお伝えすることが少なかつたと思います。

「神さまには誠が通じる」と言われますが、どうしたら通じるのかを、例えば祈りの内容を変えたら、それまでなかなかかわなかつたことが実現した等々、講師の実体験を交えて語っていただけたらと思います。神観も大事ですし、神さまに祈りが通じた体験も大事です。

二代教主さまは、今までは口の宣伝時代でしたが、口の宣伝時代はもうすでに終わりました。これからは実行をもつて、世界を導くべき時代なのです。行いの宣伝期に入ったのです。とおっしゃっています。神さまのことをただ教条的に伝えていくだけではなく、その教えをどう実践し、ご神徳を頂いたか、どうしたら神さまに通ずるのか、どうしたらご神徳が頂けるのかも示していかななくてはいけないと思います。

私は常に「ご神書にあるようなお祈りをしなさい」とお伝えしています。例えば「出口なお、良の金神と願えば、この世いつさいのことはかなえてやる」というお示しが

あります。そういう実践をしてご神徳を頂いた方もいらっしゃいます。そういう体験も話していただきたいのです。

また「人生の目的」では、なぜ神さまが人をつくられたのか、人間にはどういう使命があるのかを含めて紹介していきたいと思います。今、親鸞聖人の教えを基に書かれた『なぜ生きる（一万年堂出版）』という本が百万部以上も売れています。人生に迷っている人が世の中には多いと思います。その方々に対して、神の子、神の宮といわれる人間にはどれだけの使命があるのかをお伝えしたいと願っています。

——三日目の「信仰と生活」は三つのパートに分けられ、時間が長くなっていますね。

従来の「四大綱領」、「四大主義」と、生活に根差したみ教えの実践をご指導いただいた三代教主さま・尊師さまのご神業、これら三つの講話を、それぞれ五十分ずつで紹介します。人生の目的を学んだ後、より充実した日々を過ごすための具体的な方法として、四大綱領と主義を実践することが大切です。

# 大道場修行日程（平成31年2月5日から）

## 【1日目】

8:30～9:20 開講式・オリエンテーリング

9:30～11:30 講座「大本の出現」……………

〈昼食〉

12:50～記念撮影

13:00～15:00 講座「救世の神業」

15:30～17:00 神苑案内（天恩郷）

17:10～夕拝・巡拝・夕食

19:00～20:00 講座「要のご用」

20:10～20:30 DVD「大本のあゆみ」



## 【2日目】

9:00～11:00 講座「大本の神」

11:30～12:30 食作法……………

13:00～15:30 講座「霊界の真相」

16:00～16:50 お作品拝観

17:10～夕拝・巡拝・夕食

19:00～20:30 講座「人生の目的」



## 【3日目】

8:30～11:30 高熊山・瑞泉苑参拝

〈昼食〉

13:30～14:20 講座「信仰と生活」①

14:30～15:20 講座「信仰と生活」②

15:30～16:20 講座「信仰と生活」③

17:10～夕拝・巡拝・夕食

19:00～20:30 座談会……………



## 【4日目】

9:00～11:00 講座「大本の使命」

〈昼食〉

綾部に移動（電車または自家用車）

15:00～16:30 神苑案内（梅松苑）

17:10～夕拝・巡拝・夕食

19:00～20:30 講座「みたままつり」



## 【最終日】

8:00～うぶごえ浄写

9:00～神苑巡拝

修行修了奉告

大八洲神社参拝……………

11:30～感想文

〈昼食〉解散

さらに三代教主さま、尊師さまについて  
の講座の中では、天津神の嫡流として木花  
咲耶姫命、彦火々出見尊が国祖の大神さま  
の二度目の世の立替え立直しのご神業をお  
手伝いするため、この地に天下つて活動を  
展開された、その内容を中心にお伝えしま  
す。そのことも大事なことで、皆さまにぜ  
ひ聞いていただきたいと思っています。

——従来の「現代の大本」が「大本の使命」  
に変わりました。主な特色をお聞かせくだ  
さい。

「現代の大本」では講題通り、大本の現在の  
姿が中心に紹介されてきました。それを大  
本教法にある使命に重きを置いた講座にし  
ていきたいと思っています。その中で、ご神論  
に繰り返し出ている日本とは、日本人とは、  
大和魂とはということについても触れてい  
きたいというのが多くの講師の意見でした。  
その上で大本が本来持っている使命につ  
いて、立替え立直しやみろくの世の姿、ま  
たそのため、対外的に活動している人類愛  
善会や万教同根などにも触れていき、四代  
教主さま、現・教主さまのご神業について

も紹介いたします。

——講座日程を見ますと、従来の講座以  
外に大道場特別講座が一泊二日で組まれて  
います。どういう内容でしょうか？

今まで多くの修行者は開祖さま、聖師さ  
まをはじめ歴代教主さま方のご聖苦やお人  
柄など、そういった情の部分で感動し、印  
象に残ったという感想を寄せられています。  
今回、講座が短縮されたことにより、その  
部分がどうしても短くなります。

それを補う意味で、通常の講座とは別に  
二月から大道場特別講座を新設します。例  
えば開祖さまについては、ご聖誕、ご結婚、  
八人のお子を育てられたことをはじめ、出  
修の神事等々に関して一泊二日の日程で五  
講座行います。

聖師さまについても、歴代教主さま方につ  
いても同様です。大本では歴史の中に教  
えがあるといわれていますが、そのことに  
詳しく触れることができると思います。

一月、三月、十二月については諸般の事  
情から休講しますが、実施する月の第五回  
目の大道場修行日程の二日間を特別講座に

平成三十一年度

## 大道場特別講座

- 一回目 二月二十一日(木)～二十二日(金)  
テーマ…開祖さまのご生涯
- 二回目 四月二十二日(月)～二十三日(火)  
テーマ…聖師さまのご生涯①
- 三回目 五月二十二日(水)～二十三日(木)  
テーマ…聖師さまのご生涯②
- 四回目 六月二十一日(金)～二十二日(土)  
テーマ…二代教主さまのご生涯
- 五回目 七月二十一日(日)～二十二日(月)  
テーマ…三代教主さまのご生涯
- 六回目 八月二十日(月)～二十一日(火)  
テーマ…尊師さまのご生涯
- 七回目 九月十九日(木)～二十日(金)  
テーマ…四代教主さま・五代教主さま
- 八回目 十月十九日(土)～二十日(日)  
テーマ…開祖さまと聖師さま
- 九回目 十一月十八日(月)～十九日(火)  
テーマ…神定聖地の意義

## ●大道場長に聞く

します。

なお、この大道場特別講座は、本年と明年の二年間は、テーマを変更せず実施する予定です。

また、二年間で五回参加・受講された方は、大道場修行の天恩郷の講座を完了したことと見なし、修了証を発行します。修了証を持参して、梅松苑の講座を受講すると、大八洲神社に参拝できます。

参考までに平成三十一年の講座日程は表（右ページ下）の通りです。

——このたび地方道場に関しても規定の緩和が行われていますが、詳しくご紹介ください。

従来、地方道場では東北以北、また南北九州、そして東京本部で三日間にわたり天恩郷の日程分を行うこととされてきました。その後、梅松苑の日程を現地でを行い、修行が修了するというものです。

それを今年から、希望に応じて天恩郷の日程を各地方機関でも開催できるようにしました。本苑、分苑だけでなく分所、支部でも、また人数が集まれば個人宅でも開催

できます。期間を二〜三回に分割すること

も可能です。個人宅での開催は主として特派宣伝使に担っていただけだと思います。

特派が、この人は宣伝使になっていただきたいと思う人があれば、そのお宅で二〜三回に分けて組んでいただいても構いません。

現行の地方道場では、天恩郷で実施されているものを全講座実施し、その後、それぞれが梅松苑で残りの講座を受講しています。しかし、天恩郷を経て綾の聖地・梅松苑へ進むのが良いとされるお示しから、天恩郷で「大本の使命」を受講した後に梅松苑へ移動・受講することが本来は望ましいです。大道場修行ですから、やはり天恩郷を経て梅松苑に行くのが理想的です。

来年に大道場開設百周年を迎えるので、本年から三年間続けて、その後のことはあらためて検討したいと思えます。

——講座内容も変わり、より充実した修行が受けられると思います。全国の皆さまに受講の呼び掛けをお願いいたします。

修行の一番良いところは数日間、聖地で

過ごすということです。両聖地とも素晴らしい大地のエネルギーに満ちあふれています。地のエネルギーの強い所は天のエネルギーも強いのです。その中で生活させていただくことが大道場修行の大きな意義です。ただ講座を聞くだけではありません。それは修行の一部であって、朝拝から就寝まで神霊の気あふれる聖地でゆったりと過ごし、その中で神さまのお話を聞かせていただくことが大事です。

「心魂を浄め、意志を正しうして、さいかいしやう斎戒清浄じやうじやうなること一日一夜なれば、即ち無量寿むりやうじゆの天国に在りて、愛善の徳を治むること百年なるに勝れり（『靈界物語』第六十七巻）」というお示しがあります。その貴重な一日一夜を聖地で過ごすのは、魂にとつてそれほど大変なことなのです。昔から「亀岡の大道場は洗濯場」と言われています。皆さま方には、できれば一年に一回は修行を受けられ大きなご神徳を頂かれ、心の洗濯をされることをお勧めします。

——本日はお忙しい中、貴重なお話を賜り、誠にありがとうございました。

聞き手／本誌・松永梅男